

城山三郎『落日燃ゆ』を読む

～対話を通して深める読書体験～

戦時中の文官で唯一、A級戦犯となった広田弘毅を主人公とした小説『落日燃ゆ』。

城山三郎は彼をどのような人物として描いたのか。小説と史実とを照らし合わせながら読み、対話を通して、この作品で伝えなかった城山三郎の意図について考えを深めていく！！

○開催日/2022年12月10日(土)

○時間/13:30～15:00

○会場/文化のみち二葉館 1階大広間

○定員/30名※参加無料(要入館料)

○申込み締切り/12月3日(土)

(申込み者多数の場合、抽選になります。)

※発表は12/5(月)になります。

また、いただいた情報は抽選にしか使用しません。



○申込み&お問い合わせ先

メールアドレス:

a120053@m.chukyo-u.ac.jp

又は

QRコードよりお申し込みください。



※氏名、電話番号を必ずご記入ください。

主催: 中京大学文学部アクティブ・ラーニング研究会

共催: 文化のみち二葉館【名古屋市旧川上貞奴邸】

協力: 中京大学文学部日本文学科教授 酒井敏先生

文化のみち二葉館

【名古屋市旧川上貞奴邸】

名古屋市東区榑木町3丁目23番地

TEL/FAX 052-936-3836

URL <https://www.futabakan.jp/>

開館時間/午前10時～午後5時

入館料/一般200円、中学生以下無料



交通のご案内

●なごや観光ルートバス メーグル「文化のみち二葉館」下車 ●地下鉄桜通線「高岳」下車、2番出口より北に徒歩10分 ●名鉄瀬戸線「尼ヶ坂」下車、南に徒歩12分 ●市バス「飯田町」下車、北に徒歩2分 ●基幹バス2号「白盤」下車、南に徒歩5分

*駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

ドニチエコきっぷ

文化のみち二葉館
入館料割引!

一日乗車券を利用してご来場の方は、
一般 **200円** ▶ **160円**



～INFORMATION～

中京大学文学部アクティブ・ラーニング研究会について

アクティブ・ラーニング研究会は昨年の秋に発足しました。メンバーの多くは将来教師になることを目指し、日々アクティブ・ラーニングという教育方法の可能性を模索しています。

アクティブ・ラーニングとは、教師が一方向的に知識を教えるのではなく、学習者自身が能動的に考え、学ぶことを指します。一例としては、グループワークやディスカッション、ロールプレイなどを行い、対話を通して発見をしたり学びを深めたりします。

今回のイベントでは参加者同士で対話をしながら、作者は小説を通して何を伝えたかったのかについて、小説で描かれた時代の状況にも目を向け、対話を通して読むことによって、気づきやそれに伴う交流の楽しさを味わっていきたいと思います。



城山三郎について

城山三郎は名古屋生まれの作家で、経済小説の開拓者として、「輸出」で文学界新人賞、『総会屋錦城』で直木賞を受賞しました。また一方で『大義の末』や『指揮官たちの特攻—幸福は花びらのごとく—』といった戦争にテーマを置いたもの、田中正造と足尾銅山鉱毒事件を描いた『辛酸』や金解禁を行った総理大臣・浜口雄幸を主人公とする『男子の本懐』など多彩な作品を発表しました。今でも幅広い読者に親しまれている城山三郎。今回のイベントを通して、城山三郎の魅力を見つけていきたいと思います。



文化のみち二葉館と城山三郎

文化のみち二葉館は、城山三郎から寄贈された著書や、所有していた多くの書籍、直筆原稿、取材メモ他、愛用品を含む貴重な資料を所蔵しています。

2階の展示室には、『男子の本懐』を執筆した当時の書斎が復元されており、作品にどのような資料を使っていたのか、城山三郎自身の目線となって楽しむこともできます。

城山三郎を知るにあたって、文化のみち二葉館は重要な場所となっています。

